

新型コロナウイルスに対するワクチン接種後の予期せぬ死亡事例への対処について

新型コロナウイルスに対するワクチン接種の普及に伴い、接種後の予期せぬ死亡事例が報告されています。しかしながらワクチン接種後の死亡事例への対処については、異状死体として死体検案は実施されますが、その後の解剖の実施については地域によって大きな差があるのが現状です。これらの事例については、その死因は様々であることは言うまでもなく、死亡とワクチン接種との関連性を明確にしなければ、今後のワクチン接種の拡大にも影響を与えかねません。ワクチン接種後の予期せぬ死亡事例については、事件性の有無にかかわらず積極的に解剖を実施し、死因を究明することが望ましいものと考えます。

2021年6月28日

日本法医病理学会